opusdei.org

年間第5週·火曜日 38.第四の掟

年間第5週・火曜日38.第四の掟ーこの掟を守る人への神の祝福。長寿の約束。「甘美な掟」。一両親への愛は業をもって表す。「両親を敬う」とはどんな事?一子供たちへの愛。両親の義務の数々。

2024/04/09

年間第5週・火曜日

38. 第四の掟

- 一 この掟を守る人への神の祝福。長寿の約束。「甘美な掟」。
- 一両親への愛は業をもって表す。 「両親を敬う」とはどんな事?
- 一 子供たちへの愛。両親の義務の 数々。
- 38. 1 この掟を守る人々への神の 祝福。長寿の約束

今日のミサの福音」で、主は十戒の 第4戒に関する真の意味と範囲を明確にしています。主の説明は律法学 者とファリサイ派の詭弁(きべん)に よって生じた間違った解釈とは全く 異なっています。神ご自身はモーセ の口を通して話されました。

「父と母を敬え。父または母をのの しる者は死刑に処せられるべきであ る」。

この掟を守る者は、約束された数え きれないほどの祝福で飾られるほど 神に喜ばれます。父を尊べば、お前 の罪は償われ、祈りを聞き入れてく ださる。母を敬えば富を蓄える。父 を敬う者は、長寿に恵まれる²。 長 寿の約束は両親を愛し敬う人のため に何度も繰り返されました。「父と 母を敬え。そうすれば、神なる主が お与えになるこの世において、おま えは長く生きることができるだろ う」³。聖トマスはこの一節を説明 して、人生は充実している時は長 く、それは時間の長さで測られず行 いで測られると教えています⁴。 生 活が価値と有効性に満ちていれば、 牛涯は充実したものになります。た とえ若いうちに亡くなっても、一生 は長かったと言えるでしょう。主は また、「名声」(中傷のかわり に)、富、多くの子孫を約束しま す。子孫について聖トマスは、肉に よる子どもたちだけでなく、尊敬と 崇敬を得るに相応しい霊的父性を持

旧約聖書のこの節や他の多くの節に 述べられているこの掟が明確なもの であるにもかかわらず、律法学者と 神殿の祭司たちは、その意味とそれ が果たされるべき方法を曲解しまし た。もし、誰かが父または母に対 して「あなたに差し上げるべきもの は、何でもコルバン、つまり神への 供え物です | ⁷と言えば、その両親 にとってどれほど必要であっても、 神への捧げ物にしたと宣言されれ ば、何も受けることはできません。 捧げ物を自分のものにすれば、神へ の冒涜になります。この習慣は、必 要に応じて両親を助けるという本来 の義務に目をつぶり、自分たちの繁 栄の利潤を謳歌するための単なる法 的な措置に過ぎないことがよくあり ました⁸。 すでに述べたように、メ シアであり立法者である主は、第4 戒の真の範囲と意味を説明なさいま

す。主は当時流行していたこの項目 に関する本当に重大な誤った教えを 正されます。

神の明確な掟である第4戒は、自然 法の教えでもありますが、すべての 人、特に良いキリスト信者になりた いと望んでいる人には、たとえ犠牲 を要求されるかもしれなくても、両 親を援助し愛情を示す義務を課しま す。彼らはこれを毎日、数え切れな いほどのたくさんのちょっとした些 細なところで実行することができま す。この掟を行うことは、両親が年 をとり、もっと助けを必要とする状 況になった時、特に重要になります '。 私たちが神を真に愛するなら ば、神は決してお互いに否定し合う ことを願ってはいないことがわかる はずです。社会的にも宗教的な面か らも、当然私たちが家族の義務を第 一に大切にするときには、両親に愛 を示すのに相応しいやり方が見つか るものです。ここに私たちが子とし

ての責任を生きるための重要な領域 があるのです。子は個人的祈りの中 で、神の現存の内にこの責任をどの ように果たしているか、頻繁に糾明 するべきです。この義務が時には非 常に重いものであっても、両親に対 する義務を愛を込めて実行する人々 に、神はすでにこの世で幸福という 報いをくださっています。聖ホセマ リア・エスクリバーはこの掟を、神 が私たちに託された十戒の中で最も 甘美な掟だと名づけたものです。な ぜなら、その掟は、彼にとって最も 受け入れやすく、喜ばせるものだっ たからです。

3 8. 2 両親に対する愛は行いで示されます。両親を敬う意味

神の子としての自覚こそ、愛を込めて第4戒を果たす最も有力な理由の一つです。あらゆる意味で完全な父であると言えるのは神のみです。その御父から「天と地にあるすべての

家族がその名を与えられています」
¹⁰。両親は私たちを生んだ時、全創造物に及ぶ神の父性に与ります。私たちはこの世の父と母の中に創造者の反映を見ることができます。また、当然のこととして両親を愛しなっている事になります。

クリスマスの典礼になると、私たち は家族への愛と奉仕の精神の手本と 模範として、聖家族-イエス、マリ ア、ヨセフーのことを黙想します。 イエスは私たちが従わなければなら ない模範を残され、第4戒の甘美な 掟を、神が意図されるとおりにどの ように果たせばよいかを教えくださ いました。イエスは神への愛はすべ ての人間的愛が従属しなければなら ないほどの絶対的な権利を持つこと を断言されています。わたしよりも 父や母を愛する者は、わたしに相応 しくない。わたしよりも息子や娘を

愛する者も、わたしに相応しくない 11。この言葉から、神の意志を行うための障害になる、自分の家族へ反 大序にない執着は、神の意志に反はないがります。しかし、必然的に本当ので、必然的に本当のし、るがわれました。「死んでいるするに、自分たちの死者を葬らせた。あなたは行って、神の国をい広めなさい」12。

イエスは天の御父の意志にすべてを 完全に委託する申し分のない模範を 残してくださいました。「わたしが 自分の父の家にいるのは当たり前だ ということを、知らなかったのです か?」¹³ エルサレムでマリアとヨセ フがイエスを見つけた時、イエスは そう言われました。同時にイエスは この掟をどのように守り、家族の絆 を深めるために持つべき愛情の申し 分のない模範を示してくださいまし た。真の人であると同時に真の神で あるイエスは、両親の権威に服従し

ながら生活されました¹⁴。 イエスは ヨセフから仕事を学びました¹⁵。 ま た、家族に必要なことを助けておら れました。奇跡を初めて行ったのは 母の懇願によるものでした¹⁶。 3人 の弟子を親戚の中から選びました ⁷。 十字架上で亡くなる前に、最も 祝された母の世話を聖ヨハネに託し ました¹⁸。 母の涙と言葉に促されて 数えきれない奇跡を行いました¹⁹。 また、涙と言葉によっても20そうで した。両親の子どもたちに対する祈 りは、神に届くときに特に優先され るのです。

キリストの言葉に従って、必要な食べ物と衣服を供給して両親の必要性と望みを適える時、私たちは再び可親を敬うことになります。イエスがファリサイ人の不信仰をお咎めになったように、両親が重病に見舞われた時、この義務はさらに緊急なものになります。すべてのキリスト移が受けなければならないゆるしの秘

跡とその他の秘跡をないがしろにしないように注意しなければなりません。

最終的に、死後、彼らに相応しい葬式と埋葬を執り行い、世話をし、典礼的に相応しいとりなしの祈りと記念ミサを捧げ、遺言を誠実にかなえることによって両親を敬います²¹。トレント公会議のカテキズムは第4戒をこのように表現し、要約しています。

なぜなら、子どもが両親の師として の役を果たすことはできないからで す。

38. 3 子どもたちに対する愛。両 親のいくつかの義務

両親の第一の義務は、真の愛で子ど もたちを愛することです。これは内 から生じる愛を示し、寛大で、秩序 正しく、子どもたちの身体的、知 的、倫理的素質とは無関係のもので す。このような愛があれば、両親は すべての欠点を含めて子どもたちを 愛することができるようになるで しょう。自分たちの子どもだから愛 さなくてはなりませんが、神の子ど もでもあるのですから愛さなければ ならないのです。このことから、息 子や娘に対しての神のご意志、特 に、神に完全に自分を与える召し出 しを受ける時、その神のみ旨を愛し 尊重するという両親の基本的な義務 が生じます。良い両親はこの召し出

しを度々神に願い、子どもたちのた めに望んでいます。なぜなら、「子 どもを神に捧げ、神に仕えさせるの は犠牲ではなく、名誉であり喜びで ある | 22からです。この愛は、行い によって効果的に示される実践的な 愛でなければなりません。真の愛 は、勤勉で質素、文字通りの意味 で、良いキリスト者として立派に教 育された子どもたちを育てる両親の 努力に見られます。子どもたちが人 間徳を身に着けるよう助けなければ なりません。つまり快活であるこ と、物質的なものを利用するときの 節制、責任感、寛大さ、勤勉さ、お 金を使う問題が生じた時は、世界中 の苦しんでいる多くの貧しい人々を 認識すること。

本当の愛があれば、両親は子どもたちを入学させる学校について心を配り、受ける教育の質に真剣に関心を持つようになります。宗教的な教育については、特に注意を払うべきで

す。本当の救いが与えられるかどう かがその教育にかかっていますか ら。子どもたちに対する愛を持って いれば、休日や余暇を過ごすために 相応しい場所を探すようになるで しょう。そのため子どもたちの趣味 や関心を度々犠牲にすることもある はずです。可能な限りいつでも、真 のキリスト者として行動できなく なったり、難しくなったりするよう な環境から子どもたちを守るでしょ う。両親は神のものである大切な宝 の管理者であることを忘れてはなり ません。その時が来れば、両親はキ リスト者として、子どもたちに、単 に一家族であるだけでなく、キリス トが現存なさる家族を形成している ことを教えます、このことは家族生 活、職業上の義務、質素、秩序な ど、あらゆる場合に、模範的になる よう、親たちを駆り立てることで しょう。両親がそれを実践すれば、 子どもたちは神に至る道をその両親 の中に見つけ出すでしょう。どの母 の顔にもマリアの甘美さ、直感、そして寛大さの反映を一瞥することができます。自分の母を尊敬するなら、私たち一人ひとりの母と同じように、キリストの御母であるマリアを敬うでしょう²³。

最も祝された聖母と守護の天使のご 保護のもとに家族を据えてこの祈り を終えましょう。

- 1マルコ7・1-13
- 2 シラ書 3・4-5, 7
- 3 出エジプト 20-12
- ⁴ 聖トマス・アクイナス On the double precept of charity, 1 2 4 5 参照
- ⁵ 聖トマス・アクイナス On the double precept ofcharity, 1 2 4 7 参照

- $\stackrel{6}{-}$ The Navarre Bible, note to Matt 15:5-6 参照
- 7マルコ 7・11
- 8 B.Orchard and others, Verbum Dei, vol III 参照
- ⁹ 第二バチカン公会議 現代世界憲章 4 8
- ¹⁰ エフェソ3・15
- <u>11</u> マタイ10・37、ルカ9・6 0、14・2 参照
- 12 ルカ9・60
- 13 ルカ2・49
- 14 ルカ2・51
- 15 マルコ6・3 参照
- 16 ヨハネ2・1-11 参照

¹⁷ マルコ3・17-18、6・3 参昭

18 ヨハネ19・26-27 参照

¹⁹ ルカ7・11-17、マタイ1 5・22-28 参照

²⁰ マタイ9・18-26、17・1 4-20 参照

 $\frac{2}{1}$ Catechism of the Council of Trent, III, 5, 10-12

²² 聖ホセマリア・エスクリバー 『拓』 2 2

²³ 聖ヨハネ・パウロ二世, Address, 10 January 1979

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-V-ka/ (2025/12/15)